

千葉開府の日記念

千葉氏フォーラム議事録

千葉市長 熊谷 俊人 挨拶

■平成29年6月4日(日)

■千葉商工会議所第1ホール

○熊谷俊人（千葉市長） 皆さん、こんにちは。千葉市長の熊谷でございます。きょうは千葉氏フォーラムに大勢の皆様方がお越しをいただきまして、まことにありがとうございます。そして、田中先生も先ほどありがとうございました。

我々千葉市にとってみれば、何といたっても千葉市の都市としての起こりのルーツであり、そしてまた、現代の千葉市の都市名にも由来する。そういう意味で、全国の20の政令指定都市や、また県庁所在地を見ても、町をつくった一族と現代の都市名が今もなお同じというのは大変珍しいものでありまして、私は、そういう意味で千葉と名前を聞いたときに、県内外、多くの方々が千葉の歴史を感じていただける、そうした取り組みを我々行政としても、また教育委員会とも連携しながら今進めているところであります。

そうした中で今回のテーマは食というところでありまして、研究者の皆様方の丁寧な研究の成果を受けて、私たちの町における、そうした源平時代の食はどうであったのかということも含めてしっかりと掘り下げをさせていただき、そしてまた、さらには歴史にとどまらずに、千葉市の魅力として今後生かしていくべきエッセンスであり、文化をそこから抽出させていただいて、千葉の新たな食のメニューづくりといたしまししょうか、そうしたところまでディスカッションの中でつくっていただければと考えております。何といたっても、食は日本人は大好きでございますので、やはり歴史にちなんだ形でおいしい名物メニューが現代によみがえってくることで、改めて歴史だけでなく、身近な形でこの千葉氏について、千葉市の町のルーツについて実感をしていただければありがたいなと思います。

ちなみに私は神戸出身でして、神戸はちょっと行ったら、そうした兵士の落ち延びたところの村だという言い伝えとかがあって、そこにはやはり名物料理みたいな形で兵士、源平にちなんだようなメニューが必ずあつたりします。そういう意味では、やっぱりそうしたものを1つ、千葉の地元の食にかかわる方々とも一緒になりながら発掘していきたいと思っておりますので、きょう御参加の皆様方のほうでも、私もこんなのを考えてみたよみたいなことをおっしゃっていただいたり、一緒に千葉市の新たな歴史と今をつなげる形の食文化の伝承に向けて御協力、御理解いただければと思います。これからもまた、素晴らしい先生方における発表がございました。どうぞ最後までお楽しみください。ありがとうございました。（拍手）